

2023年春渡航





ホストファミリーと意思疎通をはかり、仲良くすることができました。夜ご飯にはアメリカの料理やメキシコの料理を作ってくれました。

工学部 電気電子学科 1年 小林笑さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： ☒ 可 ・ 不可

派遣先： UC DAVIS

アメリカには小学生の時に1度行ったことがあるので、今回の留学先はアメリカに決めました。英語でコミュニケーションする能力を高めたかったので、今回のプログラムに参加しました。あまりTOEICのスコアが伸びずに困っていたことも留学を決めた一つの要因です。

僕の通っていたUCDは、キャンパスがとても広かったです。テニスコートやバスケットボールのコートなどがあり、暇なときにはスポーツすることができます。友達とやるスポーツは楽しかったです。留学先での勉強を理解できるのかと不安になってためらっている方もいると思いますが、その心配は無用です。先生方はゆっくり話してくれ、わからなかったら言い直してくれたりしてくれます。学校の授業は午後の授業で、芝浦の学生だけではなく、他の日本の大学の方たちと一緒に授業を受けます。基本授業はグループを組んでやることが多いので、同じのクラスの方と仲良くできます。授業は1コマ50分で4つあるだけなので気構えずにできると思います。最後には英語でプレゼンテーションをやりました。恥ずかしがらずにやるのが大事だと思いました。後、いろんなところを積極的に行くことも大事だと思います。アメリカは日本よりも物価高で、日本の値段と比較すると発見があって楽しいと思います。例えば、コーラを1本買うだけで300円くらいします。しかも、あまり量が入ってないです。

最後に、Davisのいいところを紹介したいと思います。Davisは治安が良く、あまり悪い人はいません。悪い人がいないどころか、親切な人が多いので、最初留学先で治安が気になる方にはお勧めできます。また、Davisはカリフォルニア州であるので、休日にはサンフランシスコやサクラメントに行けて、楽しいと思います。僕は行かなかったのですが、NBAやメジャーなどのスポーツ観戦をするのも楽しいと思います。そして、1番おすすめしたいお店はYolo berry yogurtです。このお店はアイスクリームにお菓子を自分でトッピングでき、重さで値段が決まるお店です。自分でソフトクリームを作って食べるのが楽しかったです。

病みつきになると思うので、ぜひご利用ください。



英語の授業を毎日受け、他校の生徒とディスカッションやプレゼンテーションを行うことで英語力の向上につながった

工学部 機械機能学科 2年 渡辺直人さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： ☒ 可 ・ ☐ 不可 派遣先：カルフォルニア大学 デイビス校

英語の勉強は必要性は感じつつも、学校があるときは思うように学習時間がとれずにいたため、短期集中で力をつけるため、思い切って語学研修に参加する決意をしました。デイビス校を選んだ理由は4週間というプログラムの中では長期の留学であったため選びました。

また、アメリカに行って本場の英語に触れたいという思いがありました。授業は午後の約4時間で、短期集中で英語力を高めるにはもってこいだっただと感じています。

滞在期間中は、平日は午前中は友人とスポーツを行うかホストファミリーと会話していました。午後は授業を受け、テーマにそってディスカッションしたり、プレゼンテーションの準備を行い発表していました。

他大学の生徒も参加していたため他校の友達を作れるとともに切磋琢磨して英語力の向上につながれたと感じました。



海外で生活する自信がついた

工学部 情報通信工学科 3年 渡辺清嵩さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： ☒ 可 ・ 不可

派遣先： アメリカ・UCD

元々海外へ一年ほど留学した方が良いとずっと言われ続けていたがなかなか一歩が踏み出せずにいた。またコロナウイルスの影響によりなかなか海外へ行くこと自体も難しかった。しかしコロナウイルスによる規制が少し緩和された今、1ヶ月なら練習にちょうど良いということでこの留学プログラムへの参加を決意した。

UCDでは月～木曜日の午後1～5時に50分×4コマの授業があり、グループワークや発音練習、最終週にはプレゼンテーションを行ったりした。授業内容は特段難しいということではなく、同じクラスだった他大学の生徒とも仲良くなることができた。授業が午後の実施だったため放課後に遊びに行くということはほとんどしなかったが、午前中の時間を使ってキャンパス内の娯楽施設などで楽しんだ。

ホストファミリーや学校の先生はわかりやすく話してくれるので大体のことは理解ができ、お店など学校外においても英語がわからなくて困るということは多くはなかった。また滞在三日目でコロナウイルスに感染したが、ホストファミリーとしっかりとコミュニケーションをとって、必要なものを用意してもらい、無事快復した。この経験が一番自信がついた。

このプログラムは海外留学に行くのが怖い人、英語力に自信がない人にはおすすめできるプログラムだと思う。ホストファミリーとなるべくコミュニケーションをとることを心がけると絶対良い。



英語だけでなく現地の文化や自分の意見の
伝え方を学ぶことが出来ました！

システム理工学部 電子情報システム学科
3年 柴田 礼さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： ☒ 可 ・ 不可

派遣先： アメリカ UCD

1年生の時から実際に英語圏の文化に触れながら英語を学びたいと思っていたのですが、コロナウィルスの影響でなかなか参加することが出来ず、3年生になりようやく参加することが出来ました。UCDを選んだのは専門的なトピックに触れながら英語を学ぶことが出来るからです。

渡航前は授業についていけるかや、ホストファミリーと会話ができるか不安でしたが、実際最初の1, 2週間は聞き直すことや自分の発音が伝わらないことが多かったのですが、時間がたつにつれて自然なコミュニケーションが取れるようになっていくのが実感できました。

授業は月曜日から木曜日の午後1時から4時間なので、午前中は大学の施設でボーリングやスポーツをし、学校の後はホストファミリーと交流していました。授業ではグループワークやプレゼンテーションが多かったので、英語だけではなく自分のアイデアをまとめ、わかりやすく伝えることや、相手の考えをくみ取る能力を鍛えることもできました。さらに自分の専門分野以外のトピックに触れ、話し合うことが出来たので、新たな視点から世の中を見ることが出来るようになりました。

現地の文化を体験したかったので、週末はあまり観光はせず、ホストファミリーと過ごしていました。自然公園にハイキングに行ったり、ショッピングモールに連れて行ってもらいました。食事やイベント、街並みなど、すべてが日本での生活とは異なり、発見の連続でした。英語だけの生活に常に緊張感を感じていましたが、同時に好奇心もあったのでとても刺激的な1月間でした。また、この1か月のおかげで海外で生活することの楽しさが分かったので、英語を勉強することへのモチベーションを高めることが出来たので、参加してよかったと思っています。



この留学を通して、英語の聴く力と話す力が
伸びただけでなく、物怖じしない勇気やポジ
ティブな思考も身に付きました！

工学部 情報工学科 1年 吉田 聖さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： ☒ 可 ・ 不可 派遣先： アメリカ UC Davis

留学したきっかけは、高校生のころに留学に行きたかったがコロナウイルスの時期とかぶってしまい中止になってしまいました。しかし、今回コロナウイルスの感染状況も落ち着いて留学に行けると聞き、高校生のころから行きたかったアメリカに留学することを決めました。

滞在中の授業は、午後の1時から5時までの4時間を月曜から木曜までです。授業が午後からのため、友達と遊ぶときは、午前中か5時以降に夜飯を食べる感じでした。クラスは、日本の様々な大学の生徒から構成されていました。各授業にプレゼンがあり、一番印象に残っているのは、リサーチという授業で、これは、自分の決めたテーマの質問をUCDavisの生徒に質問することです。最初の方は、緊張したりしましたが、向こうの生徒がみんなフレンドリーなため3人目以降は、とても楽しくできました。正直その生徒と見た瞬間、直感でフレンドリーか否か分かり、あたることの方が多いので自分の直感を信じることも大切です。

滞在中の休日は、ホストファミリーと遊んだり友達と飯を食べに行きました。ホストブラザーが同世代のため、基本そのホストブラザーがドライブやショッピングに連れてってくれました。また、金曜の夜は、毎週ホストブラザーの友達泊まりに来るため、音楽を爆音で一日中ドライブやボルダリング、バレーなどしました。もし、観光よりも現地のパーティーピーポーの雰囲気味わいたい人は、同世代のホストブラザーを望むことをお勧めします。あと、ドレスコードを持っていくこともお勧めします。

トラブルや重大な事件は、起きなかったが気を付けることは、3つあります。1つ目、UC Davisのダウンタウンのお店は、6時ごろにはほぼ閉まります。2つ目、ホームレスが都会に行けば行くほどいます、話しかけられても無視しましょう。3つ目、日本ではありえないくらい大麻を吸っている人が多いです、なので必ず断りましょう。

最後に英語が伝わらないこともあったが一番大切なのは、伝えようとする事です。



英語を学ぶきっかけになりました！
そして、良い人生経験だと思います。

システム理工学部 生命科学科
2年 安住瑞妃さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： ☒ 可 ・ 不可

派遣先：アメリカ/UCD

私は、今回の語学研修に一人で申し込みましたが、同じプログラムに参加している人たちとも仲良くなることができ、とても楽しい一か月間を過ごすことができました。初めてのアメリカで、何もかもが刺激的で驚くようなことばかりでしたが、同時に自分が知らないことを知れることが楽しみでもあり、たくさんのことに挑戦してみたくくなりました。

授業は午後からの4コマで、発音・調べ学習・ライティングなどを行いました。授業の最後には英語でプレゼンテーションを行うこともあります。プレゼンテーションと聞くと不安に感じる人も多いと思いますが、どうにかなるので心配しなくても大丈夫です。先生や同じクラスの人たちが助けてくれます！すべてネイティブの先生の授業なので、実際に使われている表現を学ぶことができますし、とてもいい経験だと思います。

留学中は、授業以外にもいろいろなところに行ったり経験したりすることができます。知らない地で不安なことが多いとは思いますが、せっかく来たからにはやりたいことは全部やってみることをお勧めします！ツアーなども用意されていますし、たくさんのことを経験することで成長できると思います。私は週末に友達といろいろなところに行きました！買い物をするにも英語で会話しなければいけないため、英語に自信がないと委縮してしまいましたが、現地の人は聞き返すとゆっくり言い換えて話してくれますし、自分自身が英語を使ういい経験になると思います。また、ホストファミリーが観光地を車で案内してくれたため、たくさんの場所に行くことができました。アメリカは車がないと移動が大変ですが、バスやリフトなどを有効活用するといいと思います。

大学生になって英語を使う機会が減っている人が多いと思いますが、これからの社会で必要とされる能力だと感じます。留学することで英語を勉強するきっかけになったため、迷っている人はぜひ留学してみることをお勧めします！